

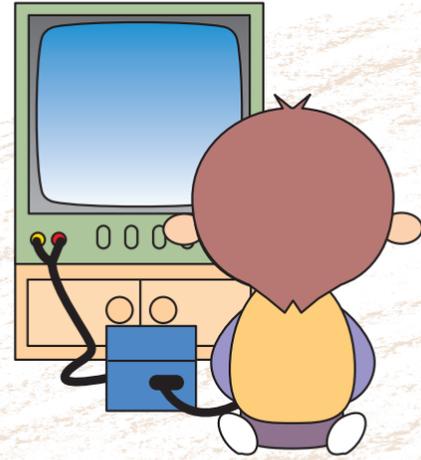
いわてが誇る教育振興運動!

気になることはありませんか? 今の子どもたち…

今の子どもたち、
気になることがあるんだけど…。

子どもたちに、伝えたいこと、
教えたいことがあるんだけど…。

子どもたちと
一緒にやりたいことが
あるんだけど…。



今の子どもたちを見て、このように感じたことはありませんか? このように、問題と思っても、一人ではできることに限りがあります。でも、岩手には、「教育振興運動」という教育運動があります。

10 「みんなで教振! 10か年プロジェクト」

県では、本年度から「みんなで教振! 10か年プロジェクト」に取り組んでいます。これは、今行っている運動や活動、組織についての再点検を行っていただき、「子どもは地域全体ではぐくむ」という気運を高め、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの育成を目指すものです。

初年度にあたる今年度は、このプロジェクトを皆さんに知っていただくことに力を入れて取り組んでいます。また、「学力向上」「健全育成」「健康安全」のそれぞれの分野について、モデルプログラムを作成しています。来年度からは、モデルプログラムを導入した市町村とともに



通学合宿における学習風景(一関市千厩町)

実践研究を行い、その成果を広めながら、教育振興運動をさらに盛んにしていく予定です。

ところで、今年度からの3年間は、教育振興運動を再構築する期間です。皆さんが、普段、問題と思ったり、疑問に思ったりしている地域の教育課題についてみんなで考え、その課題を解決するために、5者がどのような役割を担って運動をすすめればよいか、地域ぐるみで見直しましょう。



視 教育振興運動見直しのふたつの視点

① 組織を見直しましょう!

現在、教育振興運動は、PTA活動や子ども会活動等に含まれて行われている実践区が多くあります。より多くの人が運動に参加できるように組織を見直しましょう。

② 「ゆめ」を共有し、役割を分担しましょう!

PTAの懇談会、学校の職員会議、子ども会、地区懇談会、自治会等の機会を利用して、地域の教育課題について話し合しましょう。その課題を前向きにとらえ、活動の目標(ゆめ)として、みんなで共有し、その実現に向けて、5者で役割を分担して取り組んでいきましょう。

次 次代へつなぐ教育振興運動

人を育てることは時間がかかることです。

今行っている活動や運動の本当の成果が表れるのは、20年後、30年後なのかもしれません。そして、そこでは、社会がさらに大きく変化し、新しい課題解決に向けて取り組んでいることでしょう。

その次代に、自分の夢の実現に向けた個人の幸せづくりと、ともに支え合いながら地域の幸せづくりに進んで取り組むことのできる「いわての人」をはぐくむために、今、何ができるか学校、家庭、地域、それぞれで真剣に考えてみませんか?

特に、教育振興運動を支えるのは、子どもたちにとって最も身近な家庭と地域の教育力です。その教育力向上のために、県では地域の子どもの居場所づくり事業や家庭教育支援事業に取り組んでいます。



親子鮭料理教室(大槌町:安渡実践区)



? 教育振興運動って何?

今、学校、家庭、地域の連携のもと、子どもたちの「生きる力」をはぐくむことが、全国的に求められています。しかし、岩手には、全国に先駆けて、昭和40年から取り組まれている独自の教育運動があります。これが「教育振興運動」です。

この運動は、子ども、親、教師(学校)、地域、行政の5者が、それぞれの役割を果たし、手を取り合いながら、地域の教育課題の解決に自主的に取り組む教育運動です。現在では、「学力向上」「健全育成」「健康安全」の3本柱のもと、「生きる力」をバランスよくはぐくむため、各実践区において、地域の特色を生かした様々な活動が展開されています。

略して「教振(きょうしん)」と呼ばれています。



バードウォッチングによる自然体験(衣川村)



この「みんなで教振!」マークは、教育振興運動をたくさんの方に知っていただくために作りました。学校、PTA、地域、市町村で各種会議資料、事業や行事チラシ等を作る際に、このマークをお使いいただき、教育振興運動の一層の周知にご協力ください。本資料は、ホームページにも掲載しております。この教振マークも入手できますので、下記のアドレスにアクセスしてみてください。
<http://www.manabi.pref.iwate.jp> (岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」)